

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>ブロードバンド基盤の整備にあたっては、必ずしもすべてのユーザが光だけを望んでいるわけではなく、CATVなど光以外の選択肢もあわせた整備を行う必要があるとともに、基盤整備のみならず、ブロードバンド利活用促進に向けたサービスの充実も図られるべきと考えます。</p> <p>今後のブロードバンド盤については、NTTIに限定するのではなく、地域の活性化も考慮しつつ、国や自治体との協力のもと、各地域の需要に応じたインフラ整備を実施していくべきと考えます。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適切と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>ユーザからの要請に応えるため、NTTはこれまで通信インフラの拡充に努めるとともに、大規模災害発生時には社員が一致団結して復旧に取り組んできました。</p> <p>その結果としてユーザから感謝の声を頂き、それが設備部門を含めた社員全員の励みになってきました。</p> <p>仮に構造分離が実施された場合、通信インフラの維持のみを生業とする会社に属する社員は、顧客満足を意識することが難しくなり、通信インフラの高度化や責任ある保守を行うモチベーションが低下してしまうのではないかと危惧しております。</p>